



夏越の大祓 なごし 八幡神社 おほはらえ

令和3年6月30日(水)15時から、八幡神社にて「夏越大祓」が行われました。

「夏越の大祓」とは、私たちが日々生活している中、知らず知らずのうちに犯してしまった罪や穢れを祓い清め、心新たにすることで下半期も無事に過ごせるように無病息災を祈る行事です。毎年、1年の半分にあたる6月の最終日に行っています。

例年、久里浜地域のみならず多くの地域の方々が足を運ぶ伝統行事ですが、今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、周辺地域の関係者のみ参加しました。

12月には、新たな年を迎えるために心身を清める「大祓」を行います。

水無月(6月)の夏越の祓をする人は、寿命が千年伸びるといわれています。

意味

「水無月の 夏越の祓する人は
千歳の命 のぶというなり」

えながら3回くぐります。

輪をくぐる際は、次の言葉を唱



「ちがや」という草で作られた大きな輪をくぐることで、心身を清めて災厄を祓うことができま

ち
わ
茅の輪くぐり



久里浜行政センター